

BUILDSYSTEM × AI AGENT

AI Agent導入の、その先へ。

業務で使える仕組みまで支援します。

BuildSystem AI Agent Platform

Powered by algo-Cats | Enterprise App Model: Mendix + Maia



アプリケーション開発プロジェクトに、AI Agentチームを。

AI Agentで業務を変える。 AI Agentで、その仕組みを作る。

AI Agentの価値は、チャットで答えることだけではありません。業務システムとつながり、仕事を進める。そして、その業務アプリ自体もAI Agentと人のチームで作る。私たちは、この二つを一体で考えます。



AIを「使う」だけでなく、AIと一緒に業務とシステムを作り変える。



algo-Catsとは

アプリケーション開発プロジェクトを遂行するAI Agentチーム。

プロジェクトの目的に合わせて、AI Agentが役割分担し、人の判断を受けながら開発工程を進めます。



Human Control

AIに丸投げしません。人が目的・業務要件・重要な設計判断・セキュリティ・最終品質をマネジメントし、必要な場面でAI Agentへ方針変更や追加指示を行います。

AI Agent活用相談

どの業務から始めるべきかを一緒に整理します。

Reverse Engineering

旧システムを読み解き、仕様・構造を可視化します。

AI Agent PoC

実際の業務テーマを対象に、小さく検証します。

Application Development

AI Agentと人のチームで業務アプリを開発します。

人が考え、判断する。AI Agentが調べ、作り、試す。

まず、自分たちで試しています。

CURRENT PROJECT | 現在進行中の実践検証

自社で開発した既存の業務アプリケーションを題材に、AI Agentによる再開発を実施。既存アプリを“正解”として比較できるからこそ、速度だけではなく、正確性と品質まで確かめられます。



「AIで作れた」ではなく、
「業務で使える品質で作れたか」を検証する。

現場に近い開発会社だからこそ。

私たちは完成されたAIソリューションを語るだけではなく、自分たちの開発プロジェクトでAI Agentを使い、失敗も含めて検証し、開発標準へ落とし込もうとしています。その実践から得たものを、お客様へ提供します。

Reverse Engineering

旧システムを、次の開発につながる情報へ。

ALGOCATS MENU

「仕様書がない」を、そのままにしない。

長年使われてきた旧システムには、企業の業務ルールや判断が埋め込まれています。リバースエンジニアリングは、AIを使っても短時間で終わる作業ではありません。algo-Catsは大量の既存資産を網羅的に解析・整理し、人が確認できる状態へつなげます。

現状構造の把握

画面・処理・データ・連携を整理

PoC作成

構造や関係性をモデル化し、理解を支援

仕様書作成

既存資産から仕様・ルールをドキュメント化

刷新への接続

次期システムの要件整理・再構築へつなぐ

こんな時に

- ・担当者しか仕様を知らない
- ・設計書が古い／存在しない
- ・旧システムを刷新したいが、現状把握に時間がかかる
- ・保守引継ぎに必要な資料を整えたい

すでに顧客プロジェクトへ

algo-Catsブランドで、旧システムの外出し・PoC作成・仕様書作成に取り組むプロジェクトを受注。新規開発だけでなく、既存資産を理解する領域にもAI Agent活用を広げています。

Reverse Engineeringは、AIを使えばすぐ終わる作業ではありません。人が目的と範囲を定め、AI Agentが大量の情報を抜け漏れなく整理し、その結果を人が確認・再整理することで、時間をかける価値のある、次の判断に使える成果物へつなげます。

既存システムを理解するところから、AI Agent活用を始める。

企業アプリケーションのモデルケース Mendix + Maia

AI Agentで網羅的・正確に開発を進めても、企業システムとして安全に使い続けられなければ意味がありません。Mendixは、開発・実行・運用・管理を一体で支える企業向けアプリケーション基盤です。



Mendix	開発標準	ガバナンス	運用・保守
アプリを安全に開発・実行・運用できるクラウド開発基盤	統一されたモデルと開発ルール	権限・変更・レビューを管理	リリース後も継続的に改善

「画面ができた＝完成」ではありません。
設計・テスト・運用まで考えて、はじめて業務で使える。

+ PROCODE

すべてをMendixで作るわけではありません。小規模なPoC、予算、要件、自由度を重視するケースでは、algo-Cats + プロコードによる開発も選択。目的に合わせて実装方式を決めます。

約10年のローコード開発経験を、AI Agent時代へ。

ビルドシステムは2016年からMendixパートナーとして業務アプリ開発を支援し、2020年からMendix Academyのオフィシャルパートナーとして人材育成にも取り組んできました。業務システム開発の経験を、AI Agent活用へつなげます。

速さだけでは終わらせない。 人と仕組みで守る、品質向上が命。

OUR PRINCIPLE

AI Agentに “丸投げ”しない。

AI Agentは大量の作業を高速に、かつ抜け漏れなく正確に進められます。一方、業務の意味、設計上のトレードオフ、セキュリティ、最終品質には人の判断と責任が必要です。人がマネジメントし、AI Agentが網羅的・正確に実行する。そこに開発品質を高める価値があります。

- 1 業務要件 | 何を実現すべきか
- 2 設計判断 | どの構成を採用するか
- 3 セキュリティ | 守るべき条件は何か
- 4 テスト | 業務で使える品質か
- 5 最終レビュー | 責任を持って判断する

その先へ — 企業のKnowledgeをAI Agentが使える形に

業務ルール
用語・判断基準

アプリ要件
仕様・設計

システム知識
データ・API

過去の判断
変更理由・履歴

将来的には、開発で得た業務知識・要件・システム知識をKnowledge Graphへ蓄積し、次のAI Agent開発で再利用できる循環を目指します。

AI Agentが開発する。人がマネジメントする。

AIで、人の力を増幅する。

まず、相談から。

「AI Agentに興味はある。でも、どこから始めればいい？」——その段階で大丈夫です。自社の業務に合うテーマと一緒に整理し、必要に応じてPoCへつなげます。

01

相談

課題・目的・現状を伺い、AI Agentが活きる領域と一緒に探します。

02

テーマ選定

効果、実現性、リスクを整理し、小さく試すテーマを決めます。

03

AI Agent PoC

実際の業務を対象に検証。内容・期間・費用は個別にご提案します。

04

本格導入

効果を確認した上で、企業アプリや業務プロセスへ段階的に展開します。

Excel・メール中心の手作業をAI Agentで変えたい

自社のどの業務にAI Agentが使えるか知りたい

AI Agentを使った業務アプリを小さく作りたい

既存の業務システムにAI Agentを組み込みたい

AIチャットから社内システムやデータにつなげたい

旧システムの仕様・構造を整理して次の刷新につなげたい

BUILD SYSTEM

現場に近い開発会社だから、一緒に試し、一緒に作れる。

業務システム開発、ローコード、データ活用の経験を土台に、AI Agentを自らの開発プロセスへ取り込みながら実用化を進めています。AI Agentを「導入して終わり」にせず、業務で使える仕組みへつなげます。

AI Agent導入の、その先へ。正確で、業務で使える仕組みまで支援します。

WEBミーティング 希望日時フォーム



相談・デモをご希望の方

AI Agent／algo-Cats／Mendixについて、まずはお気軽にご相談ください。



Mendixをもっと知りたい方

Mendixの活用事例・技術情報・最新情報をご覧ください。